



平成 22 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 日本基礎技術株式会社
代 表 者 名 取締役社長 中原 巖
(コード番号 1914 東証・大証 第1部)
問 合 せ 先 責 任 者 取締役常務執行役員 松本 文雄
(T E L 06-6351-5621)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期業績予想の修正ならびに 投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 23 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 23 年 3 月第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり四半期純利益 |
|---|--------------|------------|----------|------------|--------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 8,000 | 百万円 △80 | 百万円 0 | 百万円 △50 | 円 銭 △1.75 |
| 今回修正予想 (B) | 7,630 | △80 | 40 | △280 | △9.80 |
| 増減額 (B-A) | △370 | — | 40 | △230 | — |
| 増減率 (%) | △4.6% | — | — | — | — |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期) | 5,170 | △336 | △240 | △330 | △11.55 |

注. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期第 2 四半期実績欄は単体の実績を記載しています。

2. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間の業績予想につきましては、一部工事の進捗の遅れや受注時期の遅れ等により売上高は減少となりました。

また、経費等コスト削減に努めたこと並びに一部高採算工事の繰上計上等もあり、営業利益は計画とほぼ同額となりました。

経常利益は、営業外収益の増加により、計画を上回る見込みとなりました。四半期純利益につきましては、株価下落に伴い、投資有価証券の評価損 214 百万円が発生したこと等により、四半期純利益は、前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点で前回予想数値の変更はありません。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

3. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

| | 単体 | 連結 |
|---|---------|---------|
| 平成 23 年 3 月期第 2 四半期会計期間（平成 22 年 7 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額（=A-B） | 128 百万円 | 128 百万円 |
| (A) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額 | 214 百万円 | 214 百万円 |
| (B) 直前四半期（平成 23 年 3 月期 1 四半期）累計期間（平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 6 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額 | 86 百万円 | 86 百万円 |

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗い替え方式を採用しております。

平成 23 年 3 月期の決算におきましては、期末日の時価により特別損失の金額が変動する場合、または特別損失を計上しない場合があります。

※ 当社の決算期末は 3 月 31 日であります。

以 上